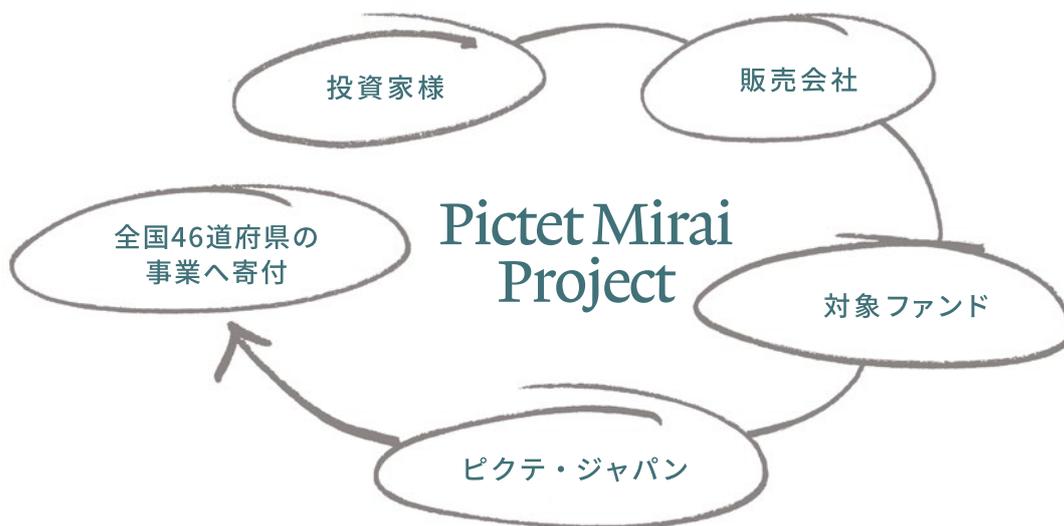


地域社会とつながる ピクテ・ミライ・プロジェクト

210余年の歴史を持つピクテ・グループは、
経営理念の中核にある「サステナビリティ」のもと、
さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、
日本のサステナブルな未来に貢献する取り組みです。
ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、
対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、
46道府県[※]の地域再生計画に基づく事業に寄付します。



当プロジェクトの
主な寄付のテーマ



2024年度
寄付先事業例
広島県



鞆地区振興事業（「鞆・一口町方衆」
その他（地域再生）（とも・ひとくちまちかたしゅう）応援プロジェクト）

瀬戸内の多島美に囲まれた鞆の浦（広島県福山市）は、江戸期の港湾施設がまともって現存する国内唯一の港町で、日本遺産に認定されるなど全国的にも貴重な歴史と文化を有する地区であるが、近年、人口減少と高齢化が著しく空き家の増加による景観悪化や伝統行事の担い手不足等が喫緊の課題となっていることから、地域の再生をかけて官民連携で町並みの整備や定住促進に取り組む。

寄付先事業例のイメージ



※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドの金融機関における販売のお取扱いは全国各地に広がりました。

その結果、全国46道府県への寄付が実現可能となりましたことを心より御礼申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

対象ファンド等の詳細は、
こちらをご覧ください。

